

見どころ案内

うらら池西岸の通路は工事のため通行止めです。ロックガーデンへは花の進化園側からお回りください。

ハナノキ (カエデ科)

ハナノキは日本固有の落葉高木で、東海地方(長野・岐阜・愛知)にのみ分布する珍しい樹木です。ハナカエデとも呼ばれ、展葉に先立って咲く紅色の花は花飾りを連想させます。今年は果実がたくさんついています。近くでは、アカシア(ミモザ)のなかまも咲いています。

オーリニア サキシラリス (アブラナ科)

ヨーロッパ~アジア原産の多年草で、黄金色の可憐な花が咲いています。アリッサム(ニワナズナ)に近い仲間です。

春の山野草

ニリンソウが一茎に2輪ずつ花を咲かせています。マイヅルソウはハート形の葉を2枚つけて、咲き始めです。

ゼラニウム展

~4月18日(展示温室)
多彩な花色と葉の模様が美しいゼラニウムや様々な香りがある香りゼラニウムを展示しています。途中に展示入替を行い、ペラルゴニウムの大輪園芸種を多く展示しています。

シャクナゲ‘太陽’

(ツツジ科)

当園のシャクナゲのなかでも早くから賑やかに咲く品種です。鮮やかな赤紫色が目立ちます。暖地でも育ちやすく、おすすめの品種です。

祝!大温室

リニューアルオープン

日本一のバオバブ、植物を間近で見られる空中デッキ、巨大コンニャクの並木など館内を一新しました。ジャングルコーナーのベンガルポダイジュの近くではバニラの花が咲いています。夜に咲き始めて午前中には閉じます。

ハナズオウ (マメ科)

中国原産の落葉低木。葉に先立って濃い赤紫色の花を咲かせ、遠くからでもよく目立ちます。

ゾウコンニャク

(サトイモ科)

当園での開花は7年連続で、5日に最初の花が咲きましたが、まだつぼみが2つあり、次々開花しそうです。開花初日の夜は腐った肉のような臭いが漂います。

ベニバナトキワマンサク

(マンサク科)

常緑のトキワマンサクの変種。トキワマンサクの淡い黄色の花色とは異なり、濃い紅色です。

おし花美術作品展

~5月6日(展示資料館)

四季折々の植物を素材として、季節ごとの情景を描いたおし花作品を展示します。1階ロビーでは、植物公園42年のあゆみ展も開催中です。

